『整数の分割』
ジョージ・アンドリュース, キムモ・エリクソン著
佐藤文広訳
数学書房 2006 年発行, 2008 年第 2 刷発行

『整数の分割』正誤表

第 1 版第 2 刷以後に発見された誤り

p.76, 演習問題 84： $\left\{\frac{(n-3)^2}{12}\right\} - \left\lfloor\frac{n-3}{4}\right\rfloor\left\lfloor\frac{n-1}{4}\right\rfloor$ （誤）$\longrightarrow \left\{\frac{(n+3)^2}{12}\right\} - \left\lfloor\frac{n+3}{4}\right\rfloor\left\lfloor\frac{n+5}{4}\right\rfloor$ （正）

謝辞： 演習問題 84 については, 徳島大学の片山真一さん, 土井拓也さんからご指摘いただきました.

第 1 版第 1 刷の誤りで, 第 1 版第 2 刷では訂正されているもの

表紙・扉・扉裏： 著者名が “George W. Andrews” となっているが, “George E. Andrews” の誤り.

p.37, 演習問題 41： ファインの定理の等式の右辺が誤り. 正しくは,

$$
\begin{aligned}
&p(n|\text{ 和因子は相異なり, 最大和因子は奇}) \\
&\qquad -p(n|\text{ 和因子は相異なり, 最大和因子は偶}) \\
&= \begin{cases} 1 & (n = j(3j-1)/2 \text{ のとき}), \\ -1 & (n = j(3j+1)/2 \text{ のとき}), \\ 0 & (\text{それ以外のとき}). \end{cases}
\end{aligned}
$$

p.38, 3 行目： $\frac{1}{2}$ 以上の （誤） $\longrightarrow$ $\frac{1}{2}$ より大きい （正）

p.45 以降の随所： 4.3 節のタイトル「アルダーの予想」に始まって, 随所に「アルダー」さん (Henry L. Alder) が出てくるが, 「オールダー」と発音するのが正しい. ちなみに, UC Davis の数学教室のコモンルームは最近まで教授であったオールダーさんの名をとって, Henry Alder room と呼ばれている.

p.59, 式 (5.4)： 左辺から q^n が抜けている.

互いに相異なる) （誤） $\longrightarrow$ 互いに相異なる)q^n （正）

p.66, 下から 7 行目：

左辺の q^n の係数に一致する. （誤） $\longrightarrow$ 左辺に一致する. （正）

p.91, 図： 真ん中のフェラーズ盤（ヤング図形）のサイズ N は誤り, m が正しい.

p.92, 下から 5 行目： q-二項整数（誤）$\longrightarrow$ q-二項係数（正）

p.107, (8.20) 式の下から 2 行目： $q^{\frac{j(5j-3)}{2}\frac{j(5j-3)}{2}}$ （誤）$\longrightarrow$ $q^{\frac{j(5j-3)}{2}}$ （正）

p.108, 2 行目： $-q^2$ （誤）$\longrightarrow -q^{-2}$ （正）

p.177, 演習問題 46 の解答： $\lambda_1 - 2\lambda_1$ （誤）$\longrightarrow \lambda_2 - 2\lambda_1$ （正）

謝辞： 誤植、誤りなどを発見・指摘していただいた

奥田順一さん, 山田裕史さん, 松井鉄史さん（の「勝手な正誤表」）, 小木曽岳義さん

に感謝いたします. 上記の「オールダー」情報は, UC Davis に 2005–2006 に滞在された山田さんからのものです.